

132 TWILIGHT CONCERT

中村 混己（津軽三味線・民謡歌手）

入場無料

2023年11月30日（木）

開演18:30（開場18:00）終演19:30

三井住友銀行東館ライジング・スクエア1階 アース・ガーデン
千代田区丸の内1-3-2（地下鉄 大手町駅下車 C14出口）



TWILIGHT CONCERT オンライン視聴について

本コンサートは、オンライン中継も行っています。

PC（Windows および Mac）、タブレット、スマートフォンにて
下記サイトへアクセスしご視聴いただけます。

※大量の通信容量が必要になるため、Wi-Fi環境での視聴を推奨しています。

▼中継ページ URL <https://pr.ij.ad.jp/live/>

▼中継ページ QR コード



主催

株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ)
<https://www.ij.ad.jp/>



インターネット黎明期の1992年、日本でインターネットを普及させるという構想を持った技術者が集まり、IIJは設立されました。誰もが安心して使える社会基盤としてインターネットが発展するよう、IIJは卓越した技術力で、現在も技術開発を先導しています。

協賛

株式会社三井住友銀行 大手町エリア・本店営業部・東京営業部
<https://www.smbc.co.jp/>



制作協力

東京・春・音楽祭実行委員会
<https://www.tokyo-harusai.com/>



連絡先

三井住友銀行 大手町エリア・本店営業部・東京営業部
須長・林 03-4333-9130

演奏

数々のコンクールを総なめにしてきた若き津軽三味線奏者・中村滉己。
民謡歌手でもある中村がフレッシュな感性でお届けする日本民謡の世界――

曲目

歩 ―AYUMI― (作曲：中村滉己)

津軽じょんから節〈新節〉(青森県民謡)

津軽よされ節 (青森県民謡)

津軽あいや節 (青森県民謡)

仙北荷方節 (秋田県民謡)

秋田荷方節 (秋田県民謡)

戦場のメリークリスマス (作曲：坂本龍一)

南部酒屋酩酊すり唄 (岩手県民謡 / 編曲：井上一平 & 中村滉己)

花 (作詞：御徒町凧 / 作曲：森山直太郎)

TWILIGHT CONCERT について

コンサートホールから 大手町オフィス街へ「音楽のおくりもの」

大手町の三井住友銀行ロビーで、2008年より毎月1回「ゆうべの音楽」をテーマにしたコンサートをお届けしています。仕事のあと、あわただしかった一日のおわりに、心地よい音楽で心の充電をしませんか。CD やテレビでは味わえない、生の演奏の素晴らしさを感じてください。

中村滉己 (津軽三味線・民謡歌手)

大伯父は津軽民謡の名人初代中村隆志、祖父はその弟中村優利、母は民謡民舞全国大会で内閣総理大臣賞を受賞した中村優美、といった民謡一家に生まれ育った。

1歳の頃、祖父中村優利が主宰する優利会チャリティー民謡発表会で「十三の砂山」を唄い初舞台を踏む。2歳の頃、祖父の自宅に置いてあったおもちゃの三味線で遊ぶようになり、その後すぐに本物の三味線を嗜むようになった。最初に弾いた曲は、津軽五大民謡の一つで、難易度が高い「津軽三下り」である。幼少期から祖父の家で三味線の手ほどきを受け、民謡の伴奏である「唄付け」の稽古に励む。8歳の頃から津軽三味線を二代目中村隆志氏に師事。その後、第6回全日本津軽三味線 競技会名古屋大会小学生の部、第16回津軽三味線コンクール全国大会小学生の部、第7回 津軽三味線日本一決定戦ジュニアの部、全て優勝し、三連覇を達成した。そして、中学三年時には、第12回津軽三味線日本一決定戦、日本一の部 (個人最高峰部門)、第12回全日本津軽三味線競技会名古屋大会一般の部 Aクラス (個人最高峰部門) で二度の史上最年少日本一の快挙を成し遂げた。(当時14歳) 同年、大手芸能事務所「松竹芸能」が主催する「松竹ジャパン全国オーディション 2018」にて25000人の応募者の中からファイナリストとなった。2022年第40回記念津軽三味線世界大会個人A級 (最高峰部門) 初出場で優勝。

現在、津軽三味線のみならず、数少ない男性民謡歌手としても幅広く活動し、全国大会にも積極的に出場し、数々の賞を受賞している。

津軽三味線界の巨匠達が紡いできた伝統を継承しつつ、様々な音楽分野との融合を通して、津軽三味線の可能性を追い求め全国各地で、またYouTube や SNS などのオンライン上でも積極的に活動している。